



大型計算機センターニュース

福岡市東区箱崎六丁目10番1号
九州大学大型計算機センター

目 次	
1. 平成6年12月以降の計算サービス時間延長のお知らせ(再掲)	1
2. 利用負担金改訂のお知らせ	3
3. 平成6年度及び平成7年度利用申請受付のお知らせ	5
4. MARC K5, Mentat II についての注意点	7
5. 平成7年度(前期)ライブラリプログラム開発計画募集のお知らせ	10
6. INSPEC収録雑誌データベースの更新のお知らせ	12
7. 平成7年度プログラム相談員募集のお知らせ	12

1. 平成6年12月以降の計算サービス時間延長のお知らせ(再掲)



 通年24時間の
 計算サービス開始

平成6年12月1日から原則通年24時間の計算サービスを開始し、日曜日・祝日もセンター外から利用できることになりました。

また、定期保守日を水曜日としましたので、長時間連続したサービス停止がなくなります。

計算サービス時間

システム利用	サービス時間	各種保守作業による停止時間
MSP UXP	原則通年24時間 ただし、右欄保守作業 の停止時間を除く	◇定期保守 毎週水曜日 5時～12時30分 ◇空調機保守 第1,3日曜日 7時30分～18時

センター内利用	曜日	開始時刻	終了時刻	
		通年	3月～11月	12月～2月
オープン利用機器	月～火	9:00	22:00	23:00
	水	12:30		
クローズLP出力	木～金	9:00	16:45	20:00

- 備考 1. 毎週水曜日は、計算機システムの保守のため12時30分から計算サービスを開始します。
 2. 16時45分以降（月～金）と土曜日及び日曜祝日は、無人運転を行っており、システム障害が発生した場合は、約20分後に自動的に計算サービスを再開します。
 ただし、30分経過後に再開できない場合は、計算サービスを打切らせていただきます。
 3. 臨時の停止を行う場合は、その都度センターニュース等でお知らせします。

サービス時間表

曜日	時間帯			(12月～2月 23:00) 3月～11月 22:00
	5:00	9:00	12:30	
月曜日 火曜日				
水曜日		定期保守		
木曜日 金曜日				
土曜日 日曜日				

ただし、第1,3日曜日は空調機保守のため下記のとおりです。

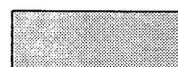
日曜日	7:30		18:00	
			空調機保守	



利用可能



センター外からの
利用のみ可能



定期保守等で
利用不可

(システム運用掛 内線2517)

2. 利用負担金改訂のお知らせ

平成7年2月1日から計算機利用負担金の一部を別表のとおり改訂いたします。
 なお、改訂内容は別表（負担金新旧比較対照表）を参照して下さい。

別表

区 分		負 担 金 の 算 定 基 準	
演 算 負 担 金	バ ッ チ 処 理	スーパーコンピュータ 1件のCPU時間（1秒未満は切り上げる。）が 5分までは1秒につき 5分を超え15分までは1秒につき 15分を超える場合は超える部分1秒につき	5円 3円 1円
		汎用コンピュータ 1件のCPU時間（1秒未満は切り上げる。）が 5分までは1秒につき 5分を超え15分までは1秒につき 15分を超える場合は超える部分1秒につき	4円 2円 1円
	T S S 処 理	汎用コンピュータ 1秒につき	4円
入 出 力 負 担 金	プリンタ出力	1枚につき	4円
		100図形文字パターンにつき	1円
		高画質カラープリンタ用紙 A5版1枚につき 同 A4版1枚につき	180円 360円
	XYプロッタ出力	4,000ステップにつき	1円
		10センチメートルにつき	3円
	ファイルアクセス	2万回まで	1円
2万回を超える部分の200回につき		1円	
端末接続	1分につき	0.5円	
	ただし、センター内端末利用の場合は1分につき	1円	
ディスク	200キロバイトにつき 1日	1円	
マスストレージ	100メガバイトにつき 1月	1,000円	
並列計算機負担金		1秒につき	1円
ワークステーション負担金		使用時間1分につき	3円
各区分共通負担金		各区分に従い算出した利用負担金を月ごとに集計した合計額に百分の三を乗じて得た額	
備考			
1, 利用負担金請求額に百円未満の端数が生じた場合は、これを百円に切り上げるものとする。			
2, 並列計算機負担金については、フロントエンドプロセッサのCPU時間に対して課金する。			

別表（負担金新旧比較対照表）

区 分	旧	新	
基本負担金	40円/件	廃止	
演算負担金	スーパーコンピュータ 7円/秒（1分まで） 6円/秒（5分まで） 3円/秒（15分まで） 1円/秒（15分超過分） 汎用コンピュータ 5円/秒（5分まで） 3円/秒（15分まで） 1円/秒（15分超過分）	スーパーコンピュータ 5円/秒（5分まで） 3円/秒（15分まで） 1円/秒（15分超過分） 汎用コンピュータ 4円/秒（5分まで） 2円/秒（15分まで） 1円/秒（15分超過分）	
	T S S 処理	バッチと共通	4円/秒（汎用コンピュータ）
入出力負担金	プリンタ出力 4円/枚 1円/100図形文字パターン 高画質カラープリンタ 180円/枚（A5版） 360円/枚（A4版）	同左	
	XYプロッタ出力	1円/4,000ステップ 3円/10cm	同左
	ファイルアクセス	1円/2万回 1円/200回につき （2万回を超える部分）	同左
	端末接続	2円/分（センター内） 1円/分（センター外）	1円/分（センター内） 0.5円/分（センター外）
	ディスク	1円/200KB・日	同左
	マストレージ	1,000円/100MB・月	同左
並列計算機負担金		1円/秒	
ワークステーション負担金	3円/分	同左	
各区分共通負担金	各区分に従い算出した利用負担金を月ごとに集計した合計額に百分の三を乗じて得た額	同左	
施行年月日	H5.10.1	H7.2.1	

（システム運用掛 内線2517）

3. 平成6年度及び平成7年度利用申請受付のお知らせ

I. 平成6年度利用申請の受付

本年度の利用申請（新規・追加）の受付は、2月28日（火）で、また、科学研究費による利用申請（新規・追加）の受付は、1月31日（火）で締切ります。

II. 平成7年度利用申請の受付

1. 継続申請について

(1) 九大センターを「所属センター」としている場合

平成6年度に九大センターを所属センターとしている利用者には、「計算機利用申請書（継続用）」を1月下旬までに送付しますので、引き続き利用を希望される方は、継続用申請書の説明を熟読の上、2月1日（水）から3月10日（金）までの間に九大センターに継続手続きを行ってください。

(2) 九大センターを「所属センター」とし、他センターを「第二センター」としている場合

上記(1)の継続の承認をうけたあとに、「SINSEI」コマンドで3月20日（月）までに第二センターへ継続手続きを行ってください。

(3) 九大センターを「第二センター」としている場合

所属センターで継続の承認をうけたあとに、所属センターの用意したコマンドで3月20日（月）までに九大センターへ継続手続きを行ってください。

(4) 九大センターのUXPシステムを継続利用する場合

上記(1)又は(3)で継続の承認をうけたあとに、「SINSEI」コマンドで平成6年度最終運用日までにUXPシステムの継続手続きを行ってください。

2. 新規・追加申請について

平成7年度新規・追加利用申請の受付開始は平成7年3月13日（月）からです。

なお、九大センター及び他センターの申請種類別受付期間は、次のとおりです。

九大センター計算機利用申請（種類別）受付期間一覧表

申請種類別	所属センターとしての 受付期間	第二センターとしての 受付期間
平成6年度新規・追加	～H7. 2. 28	～H7. 2. 28
〃 変更・取消	～H6年度最終運用日	～H6年度最終運用日
平成7年度への継続	H7. 2. 1～H7. 3. 10	H7. 2. 1～H7. 3. 20
平成7年度新規・追加	H7. 3. 13～	H7年度運用開始日～
〃 変更・取消	H7. 4. 3～	H7年度運用開始日～

他センター計算機利用申請（種類別）受付期間一覧表

センター名	申請種類別	所属センターとしての受付期間	第二センターとしての受付期間
北大 センター	H6年度新規・追加	~H7. 3. 30	~H7. 3. 30
	" 変更・取消	~H7. 3. 30	~H7. 3. 30
	H7年度への継続	H7. 2. 1~H7. 4. 14	H7. 2. 1~H7. 3. 20
	H7年度新規・追加	H7. 3. 1~	H7. 4. 3~
	" 変更・取消	H7. 4. 3~	H7. 4. 3~
東北大 センター	H6年度新規・追加	~H7. 2. 28	~H7. 2. 28
	" 変更・取消	~H6年度最終運用日	~H6年度最終運用日
	H7年度への継続	H7. 2. 1~H7. 3. 10	H7. 2. 1~H7. 3. 20
	H7年度新規・追加	H7. 3. 13~	H7. 4. 3~
	" 変更・取消	H7. 4. 3~	H7. 4. 3~
東大 センター	H6年度新規・追加	~H7. 2. 17	~H7. 2. 17
	" 変更・取消	~H6年度最終運用日	~H6年度最終運用日
	H7年度への継続	H7. 2. 1~H7. 2. 28	H7. 2. 1~H7. 3. 20
	H7年度新規・追加	H7. 3. 15~	H7年度運用開始日~
	" 変更・取消	H7. 4. 1~	H7年度運用開始日~
名大 センター	H6年度新規・追加	~H7. 2. 28	~H7. 2. 28
	" 変更・取消	~H7. 3. 30	~H7. 3. 30
	H7年度への継続	H7. 2. 1~	H7. 2. 1~H7. 3. 20
	H7年度新規・追加	H7. 2. 15~	H7. 4. 3~
	" 変更・取消	H7. 4. 3~	H7. 4. 3~
京大 センター	H6年度新規・追加	~H7. 2. 28	~H7. 2. 28
	" 変更・取消	~H6年度最終運用日	~H6年度最終運用日
	H7年度への継続	H7. 2. 1~H7. 3. 10	H7. 2. 1~H7. 3. 20
	H7年度新規・追加	H7. 3. 13~	H7年度運用開始日~
	" 変更・取消	H7年度運用開始日~	H7年度運用開始日~
阪大 センター	H6年度新規・追加	~H7. 2. 28	~H7. 2. 28
	" 変更・取消	~H6年度最終運用日	~H6年度最終運用日
	H7年度への継続	H7. 2. 1~H7. 3. 20	H7. 2. 1~H7. 3. 20
	H7年度新規・追加	H7. 3. 1~	H7年度運用開始日~
	" 変更・取消	H7年度運用開始日~	H7年度運用開始日~
学情 センター	H6年度新規・追加	~H7. 2. 24	~H7. 2. 24
	" 変更・取消	~H7. 3. 30	~H7. 3. 30
	H7年度への継続	H7. 2. 1~H7. 3. 20	H7. 2. 1~H7. 3. 20
	H7年度新規・追加	H7. 3. 27~	H7. 4. 3~
	" 変更・取消	H7. 3. 27~	H7. 4. 3~

<注>詳しくは各センターのセンターニュースを御覧下さい。

(共同利用掛 内線2532)

4. MARC K5, Mentat II についての注意点

現在テスト公開中の MARC K5, Mentat II の使用に関し、以下の点にご注意下さい。

1 MARC K5 出力のポストデータについて

MARC K5 が出力した後処理用データ (ポストデータ) が、Mentat II で読み込めない場合があります。対策として、ポストデータを “pldump” というプログラムを通し修正することで Mentat II での読み込みが可能になります。

pldump プログラムは、センター 2 階のワークステーション medics の pldump コマンド (/usr/bin/pldump) で起動します。起動後は画面の指示に従って対話的に処理を行なって下さい。

1.1 pldump 使用例

MARC K5 のポストデータ marc.post19.t19 を pldump プログラムにより marc.t19 に変換する。

```
medics% pldump  <--- pldump の起動
**** marc version k5 post tape processor

output file name:
inform.d  <--- LOG データ

write post data to output option:
(options: none, partial, full)
full 

**** write full post data to output

type of post tape to read:
(options: binary, formatted)
formatted 

**** type of post tape to read: formatted

name of formatted post tape to read:
marc.post19.t19  <--- MARC K5 の出力データ

**** name of formatted post tape to read: marc.post19.t19

type of post tape to write:
(options: none, binary, formatted)
formatted 

**** type of post tape to write: formatted

name of formatted post tape to write:
marc.t19  <--- 変換後のポストデータ
```

```
**** name of formatted post tape to write: marc.t19
```

```
user data processing option:
```

```
(options: yes, no)
```

```
no 
```

```
**** no user processing of post data
```

```
highest increment number to process:
```

```
(enter -1 to process only non-incremental data)
```

```
1 
```

```
**** number of increments to process: 1
```

```
**** all requested increments successfully processed  
medics%
```

1.2 インライン・シェルの作成方法

pldump をインライン入力で簡単にデータを処理したいときは、例えば以下のシェルを作成し、使用されると多少手間が省けます。

```
#  
cat >in <<EOF  
log  
full  
formatted  
$1.t19  
formatted  
$1_new.t19  
no  
2500  
EOF  
pldump<in  
mv $1_new.t19 $1.t19  
rm in
```

シェルの作成方法

の行からの 14 行を、(例えば) “pld” というファイルに格納する。

chmod コマンドにより pld に実行権を与える。

```
medics% chmod +x pld 
```

job.t19 というポストファイルがあったなら、

```
medics% pld job
```

とする。job.t19 に変換後のポストファイルができる。

1.3 注意

- pldump を通した結果の出力ファイル名には、“.t19”が末尾に付加されなければ、Mentat II にポストファイルとして認識されません。従って marc.result.t19, post.t19 などと、必ず末尾に “.t19” を付加下さい。
- pldump プログラムを個人的に御希望の方は下記のメールアドレスまで（必ずメールで）お申し込み下さい。

a70033a@kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jp 研究開発部・境理恵子 宛

1.4 Mentat II の PostScript ファイル出力について

Mentat II の解析結果を PostScript プリンターに出力する場合、Mentat II 内部から medics 接続のフルカラープリンターに出力する場合は問題ありませんが、一度 PostScript 形式で保存したファイルを出力する場合、Mentat II の保存イメージが letter size のために、A4 版出力では 一部が切れて 出力されることがあります。

対策として、letter size を A4 イメージに変換する sed script を用意しました。Mentat II 出力の PostScript ファイルを次のように sed コマンドで変換すると、A4 版での画面の“切れ”が解消されます。

使用方法

Mentat II 出力の PostScript ファイルを p.ps、修正後の出力を tmp.ps とします。

```
medics% /bin/sed -f /usr/marc/mentat120/tools/a4 p.ps > tmp.ps
```

下線部の“a4”が sed script file です。この script は、PostScript ファイルの一部を置き変えるだけのものなので、この部分をコピーして、他のワークステーション等でも同様な PostScript ファイルの変換が可能です。

(ライブラリ室 内線 2509)

e-mail : f70029a@kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jp

5. 平成7年度（前期）ライブラリプログラム開発計画募集のお知らせ

ライブラリプログラム開発計画募集要領（後述）に基づき、標記開発計画を下記のとおり募集します。多数の応募を歓迎致します。

記

1. 応募資格 本センター利用有資格者
2. 応募締切 平成7年2月28日（火）
3. 応募手続 所定の申請書に必要事項を記入の上、ライブラリ室（内線 2509）まで提出する。
 - 申請書および募集要領は、ライブラリ室に用意してありますので、電話、メール等で請求して下さい。
 - 電子メールによる申請も可能です。下記 e-mail アドレスまで連絡をお願いします。折り返し募集要項、申請書の FORMAT をお送りします。
連絡先 : sakai@cc.kyushu-u.ac.jp
研究開発部・境 理恵子 宛
4. 対象課題
 - a) 広く各分野で使われる可能性のあるプログラムの開発。
 - b) ある専門分野に限られるが、その分野では広く使われる可能性のあるプログラムの開発。

なお、開発されたプログラムは、なるべく早い時期にセンターのライブラリプログラムとして登録および公開するものとしますが、これら開発に関する事項の詳細については、次項に示す募集要領を参照してください。

ライブラリプログラム開発計画募集要領

1. 対象となる課題
 - a) 広く各分野で使われる可能性のあるプログラムの開発。
 - b) ある専門分野に限られるが、その分野では広く使われる可能性のあるプログラムの開発。

ただし、次のような課題については原則として認めない。

- i) 一般的な手法が確立されていなくて、研究的性格の強い課題。
- ii) 他センター等のプログラムの書替え・移植において、その作業が極めて容易であると考えられる課題。

2. 公募は年2回（前期，後期）とする。申請された課題は、締切の翌月のプログラムライブラリ委員会（以下、委員会）で審査する。ただし、開発に際し、多数の長大ジョブの実行

が必要であると考えられる場合は、原則として前期に申請し、繁忙期に入る前（11月位）までに開発を終了するものとする。

前期締切：2月末日（開発開始は 4月1日予定）

後期締切：8月末日（開発開始は10月1日予定）

採用された課題は、センターニュースで広報する。

3. 開発者の義務

- i) 開発終了後、早い時期にライブラリプログラムとして登録および公開するものとする。
- ii) 利用者のための「利用の手引き」を作成する。これを終了報告書として委員会で審議する。
- iii) 開発したプログラムの概要あるいはその使用法をセンター広報に掲載する。

4. 開発に係る経費等

- i) 採用された課題に対して、ライブラリ開発用の登録番号を割当て、それに係る計算機利用負担金は、センターで負担するものとする。計算機利用負担金の限度額は、申請時の計算時間により別に定める。
- ii) 計算機利用負担金以外で開発に必要な旅費、雑費等は、この開発計画による負担の対象とはしないので留意すること。

5. 開発作業

- i) ライブラリ開発は年度毎（4月～翌年3月）とする。開発継続の場合には、十分な資料とともに継続申請書を提出する。
- ii) 開発継続の場合にも、完成した範囲内で登録手続きをとることが望ましい。
- iii) 同一課題での継続は、原則として3年までとする。

6. その他

- i) 申請書に不明な個所があったり、申請計算時間が過大であると思われる場合や、開発経過が不首尾であると考えられる場合は、委員会にて口頭説明を求めることがある。
- ii) サブルーチンまたは関数副プログラムのライブラリの場合、既に登録してあるものと呼び出し名が同一にならないように注意すること。
- iii) オンラインマニュアル（計算機に格納され利用可能なマニュアル）を用意することが望ましい。

申請計算時間と予算額

計算時間(時間)	1	2	3	4	5	6	7	8	9
予算額(万円)	10	15	20	25	30	35	40	45	50

【注意】

計算時間が9時間を超過する場合、ライブラリ委員会の審議を経て予算額を決定します。

(ライブラリ室 内線2509)

e-mail:f70029a@kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jp

6. INSPEC収録雑誌データベースの更新のお知らせ

1月11日に INSPEC 収録雑誌データベース INSPEC-J を1995年版に更新しました。更新後の収録雑誌数は6,878件です。

参考文献

篠原他：情報検索システムAIRの改訂について，九州大学大型計算機センター広報Vol.20, No.3, pp.221-238, 1987.

(データベース室 内線2510)

7. 平成7年度プログラム相談員募集のお知らせ

当センターでは，月曜日から金曜日の13時30分から17時30分までプログラム相談を行っています。質問者への助言，技術指導等のため下記によりプログラム相談員を募集しますのでお申込みください。

なお，詳細は共同利用掛にお尋ねください。

記

- | | |
|---------|---|
| 1. 応募資格 | センター利用有資格者 |
| 2. 担当時間 | 週1回 (2時間)
但し，夏季休業中(7/11～9/10)は期間内に2回程度 |
| 3. 任期 | 平成7年4月～平成8年3月 |
| 4. 特典 | 指導用計算機時間(年間120分)
富士通マニュアル(一定限度まで配付) |
| 5. 申込期間 | 2月17日(金) |
| 6. 申込み先 | 九州大学大型計算機センター 共同利用掛(内線2532) |